

2026 年 6 月 5 日

各 位

会社名 フクヤ建設株式会社
(コード番号 284A TOKYO PRO Market)
代表者名 代表取締役 福家淳也
問合せ先 業務推進事業部執行役員兼事業本部長
小池 日出斗
TEL 088-845-4618

TOKYO PRO Market への上場目的の開示について

当社は、2026 年 4 月 3 日付で株式会社東京証券取引所より発出された通知「TOKYO PRO Market への上場目的の開示のお願い」による要請に基づき、当社の TOKYO PRO Market への上場目的及びその実現状況の評価等について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. TOKYO PRO Market への上場目的

当社は住宅建築事業を基盤とし、M&A を通じた事業拡大を積極的に推進しています。TOKYO PRO Market への上場により、上場企業としての信用力を獲得し、売り手企業からの信頼向上および買収資金調達（銀行借入等）の円滑化を図ることで、M&A 戦略を加速させます。

また、上場による企業ブランドの向上により、優秀な人材の採用・定着を強化し、慢性的な人材不足が続く建設業界において競争力を高めて、さらに、上場準備を通じて内部管理体制を整備し、経営の透明性とガバナンスを向上させることで、持続的な企業価値の向上と地域社会への貢献を実現することを目的とします。

2. 上場目的の実現に向けた取り組み

当社は、TOKYO PRO Market への上場目的を実現するため、M&A 戦略の強化に取り組んでおります。その結果、上場後にはすでに 2 社の M&A を実行しており、上場による信用力向上が実際の案件獲得と買収実行に大きく寄与しております。

今後の目標として、人口 30 万人規模の都市へ 10 拠点を开店し、各拠点で年間 30 棟・売上 10 億円を達成する体制を構築します。事業拡大の一環として、年間 1 社のペースで M&A を実施していく方針です。

また、上場企業としてのブランド力を活かし、採用広報の強化や働き方改革の推進、評価制度の透明化などに取り組むことで、優秀な人材の採用・定着を図っております。

さらに、財務基盤の強化や主要取引先・協力会社との関係深化を進めることで、建設業に不可欠な信用力の向上にも努めております。

3. 上場目的の実現状況の評価

当社は、上場目的の一つである M&A を通じた事業拡大に向けて取り組んでまいりましたが、M&A の専門チームの設置や買収基準の明確化、PMI の標準化といった体制整備については、現時点では十分に構築できておらず課題が残っております。

一方で、上場による信用力向上を背景に、上場後に M&A を成立させており、事業拡大という観点では一定の成果を上げております。

これらの M&A は個別の経営判断や機動的な対応によって実現した側面が強く、持続的かつ再現性のある M&A 戦略として確立するためには、体制面の整備が不可欠であると認識しております。

今後は、専門チームの設置、買収基準の策定、金融機関との連携強化、PMI プロセスの標準化を進め、M&A を継続的に実行できる仕組みづくりを推進してまいります。

また、2034 年までに売上高 100 億円を目指しております。

4. 今後の方針

当社は、上場目的である M&A を通じた事業拡大を持続的に実現するため、まず M&A 体制の整備を最優先課題として取り組んでまいります。

また、上場企業としての信用力を活かし、優秀な人材の採用・育成・定着を強化することで、事業拡大を支える組織基盤の強化を図ってまいります。さらに、内部統制や財務・会計体制、コンプライアンス体制、取締役会機能などのガバナンス整備を進め、上場企業としての透明性と健全性を高めてまいります。

これらの取り組みを通じて、当社は上場後に実現した M&A の成果を一過性のものとせず、継続的な成長につながる仕組みとして確立し、地域社会への貢献と企業価値のさらなる向上を目指してまいります。

なお、本資料に記載された内容は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社の今後について確約するものではありません。

以 上